

# 自転車道整備により自転車及び歩行者の安全性が向上

- 自転車と歩行者が輻輳するなど、危険な状況であったが、整備後、自転車道の利用率は9割以上あり、歩行者と自転車の安全性が向上。
- 自転車利用者及び歩行者からも安全性に対して6割以上が満足と評価。

愛知県名古屋市中区  
 国道19号 日銀前～桜通大津交差点 L=800m

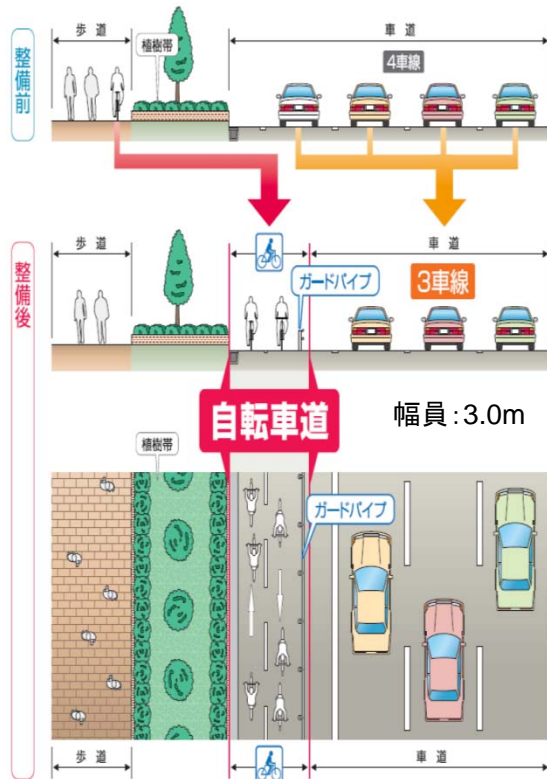


## 整備前



## 整備内容

車道を片側4車線から3車線に減少し、車道上に自転車道を設置。



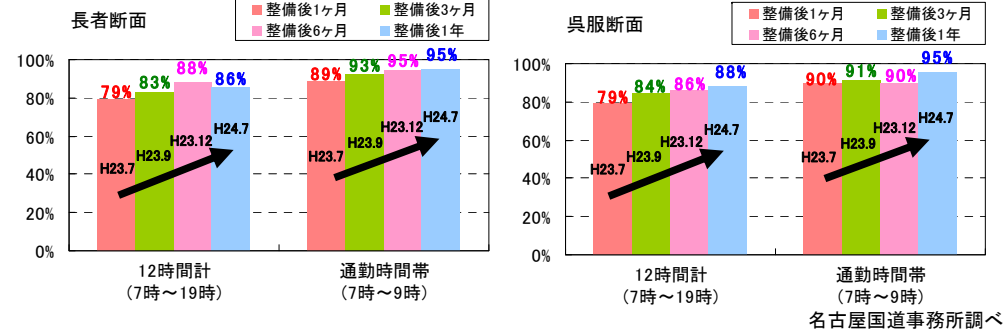
## 整備後



## 整備効果

### ○自転車道の利用率

整備後1年における自転車道の利用率は約9割。整備後、着実に向上。



### ○自転車道整備後の安全性に対する満足度

- 自転車道整備後の安全性に対する満足度は『自転車』が最も高く、「非常に満足」「やや満足」合わせて約80%。
- 次の、『歩行者』が高く、「非常に満足」「やや満足」合わせて約60%。

